

---

# 星に呼ばれて

江渡捨文

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

星に呼ばれて

### 【Nコード】

N1259M

### 【作者名】

江渡捨文

### 【あらすじ】

主人公の元に旧友から手紙が届いた。

『大至急来られたし』

主人公を待ち受ける運命とは。

## （前書き）

初めて書いた小説です。  
拙い文章ですが、読んで頂けたら幸いです。

「くそっ」

ジェイクは煙をあげるボンネットに向かって呟いた。

電話をかけようと携帯を取り出すが、圏外だった。

地面に叩きつけたい衝動をなんとか押さえると、ジーンズのポケットへと戻した。

あたりは鬱蒼と茂った森に囲まれ、街頭すらなかった。

星明りの中で白いシャツだけが目立つ。

道路の先にライトアップされた看板が見えた。

『美しい星空　美しい街　ブライトロット　この先2km』

ここまでたどり着くまでの数時間、一台の車も見かけてはいない。どうやら歩くしかないようだ。

首をふり、ジェイクは歩き始めた。

途中にガソリンスタンドがあるかもしれない。あるいは民家でも。そうすればトビーに電話がかけられる。

トビー。トビーとは大学以来5年も会っていない。

なんでも民俗学だか宗教学だかの研究のために田舎に引っ越す事になったそうだ。

3日前、そのトビーから手紙が届いた。

『ジェイク、頼む。すぐにブライトロットまで来てくれ。厄介なことになった。トビアス・R・マイヤー』

何事かと思いきやすぐに電話をかけたのだが、なんと呼び出しても出なかった。

これがもし、他の人間からの手紙ならば無視していただろう。

本気だろうがいたずらだろうが、厄介ことなのは確かだからだ。

誰がわざわざそんな事に首を突っ込みたがる？俺はお人好しじゃない。

だが、他ならぬトビーの頼みとなれば話は別だ。

トビーには借りがある。でかい借りが。その借りを返すならば、まさに今だろう。

これはある種のチャンスとも言える。そう思えば苛立ちも幾分収まった。

ようやく夜道に目が慣れてきたその時、目の前に影が躍り出た。

突然飛び出した影に驚き、情けない悲鳴を上げて尻餅をつく。

影は鹿だった。

鹿の後ろ足からは血が流れ出ていた。

傷ついた足を引きずりながら道路を横切り、反対側の森へと消え去る鹿の姿をジェイクは呆然と眺めた。

ジェイクはふらつきながら立ち上がると、鹿の消えていった森を見つめた。

「は、ははは、、、」

情けない自分の姿に笑いが込み上げる。

その時、どん！と背中を押された。

振り向くと、男が立っていた。

男は口をぱくぱくとさせながら目をまん丸にして、血の気の引いた顔をこちらに向けていた。

その手には猟銃が握られ、銃口からは煙が立ち上っていた。

彼に声をかけようとしたが、開いた口からは声の代わりに泡立った血が噴き出した。

ジェイクは倒れ、空を仰いだ。そこには満天の星空が浮かんでいた。

脳裏に先程の看板の文句が浮かんた。それがジェイクの思い浮かべた最後の言葉となった。

『美しい星空　美しい街　ブライトロット』

エピソード

トビーがバーで酒を煽っていると、男が肩を叩き陽気に話しかけた。

「よう、トビー。あんたが書いた『星々と神話』、読んだぜ。難しすぎておいらにやよくわからなかったよ。だが、田舎町って表現はいただけねえな」

トビーは冗談めかして言った。

「田舎なのは、確かだろ？」

「はは、ちげえねえや。あんたもこんな田舎じゃつまらんだろ。都会に帰りたいとは思わねえのか？」

「いや」トビーはグラスに目を落とし、感慨深げに言った。

「僕はここが好きなんだ。仕事もあるしね。それに、都会には友達もいなかったし」

「……ああ、一人ジエイクって言う友達がいたけど、もう何年も会ってないよ」

「きつと僕のことなんて忘れてるだろうな」

（後書き）

いかがでしたか？

宜しければ感想を頂けたら嬉しいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1259m/>

---

星に呼ばれて

2010年11月2日08時34分発行